



学校だより 自ら学ぶ心を

笠間中学校

<http://www.ed.city.kasama.ibaraki.jp/jh-kasama/>

か：活気にあふれ
さ：さわやかで
ま：まとまりのある学校

第 21 号

2026 年 2 月 2 日

笠間市立笠間中学校

TEL 0296-72-0120



暦の上では もうすぐ春なのに… いまだに風は冬の装い

2月4日は立春です。暦の上では春を迎えますが、県内1、2位を争う朝の最低気温をはじめ換気のために開けている窓から吹き込む風は、まだまだ冬本番といったところです。

そんな中、驚かされるのは自然の生命力です。暦に合わせ、しっかりと春の準備をしています。寒さに身をかがめ、季節を本能で感じられなくなってしまったのは、人間だけなのかも知れません。各地で聞こえ始まった梅の便り。受験期に併せ、学問の神様の歌を載せてみます。

「東風吹かば 匂ひ起こせよ 梅の花 主^{あるじ}なしとて 春を忘れそ」大鏡Ver

都を追われた菅原道真公が、大宰府に移る際に詠んだ歌です。「春の東風が吹いたら、その香りを太宰府まで届けておくれ。主人がいないからといって春を忘れてくれるな」といった願いが込められています。

「飛梅」伝説によると歌に詠まれた梅の木は、一夜のうちに京都から遠く太宰府の地まで移ったとされています。

以来、御神木として大切にされてきた飛梅は、極早咲きの色玉垣という品種で、毎年、境内にある6,000本の梅に先駆けて花を咲かせるそうです。さて、生徒のみなさんは何で春を感じていますか。冬眠状態のままになっている感性を呼び覚まして身近な春を見つけてみましょう。今よりもちょっとだけ気持ちが前向きになれるかもしれません。

市内中・義務教育学校 創作部作品展覧会 開催

～ 県芸術祭市内児童生徒出品作品展と合同開催 ～



友部公民館のロビーの様子

数ある部活動の中で美術部や創作部は、部活動としての発表の場がありませんでした。2年前から教育委員会主催でノート展と合同企画として市内創作部展を開催してきました。

本年度は、県展出品作品の市内巡回展廃止に伴い、笠間市の教育研究会が中心となって、創作部の展覧会を引き継ぐとともに県展作品との合同開催の機会を設定していただきました。

授業や夏休みの作品とはひと味違い、じっくりと時間をかけて制作を進めてきた作品が多く展示され、友部公民館を利用していた一般の方も足を止め、子供たちの作品に見入っておりました。

来年度は、立体作品や半立体の吊下げ作品などのバリエーションを増やした展覧会になるよう、さらに改善が図られるそうです。



笠間中創作部 作品コーナー



県芸術祭市内児童生徒出品 作品コーナー

季節の制作第4弾「節分 豆まき/恵方巻」づくり

～ 今、追い出したいオニとは？ ～

第4弾となる「節分 豆まき/恵方巻」づくりを、またまた0円で完成させました。今回のポイントは、かわいい鬼の折り紙もさることながら巻く前と巻き終えたものの両方を表現した「恵方巻」が食欲をそそります。

節分は文字通り季節を分けることから、立春の前日、今年は明日2月3日です。豆まきを前に追い出したい鬼と招き入りたい福はイメージできていますか。

本校も先日、インフルエンザによる学級閉鎖をしました。市内でも学年閉鎖や学校閉鎖を余儀なくされるほど拡がっている状況です。スキー宿泊を目前に控えている1年生にとっては、豆まきで追い出せるならインフルエンザ菌を身の回りから追い出したいところでしょう。

感染予防と言えば「手洗い」が基本です。しかし、今の時期は水が冷たいこともあって、手を濡らす程度になりがちです。塾や習い事に行く際、または混雑した場所に出かける際は、マスク等の対策を心がけるとともに、こまめ手を洗うこと、ていねいに手を洗う習慣を身に付けましょう。そして家に帰ったら、必ず石けんを使ってしっかりと手を洗いましょう。それでも風邪症状が現れてしまった場合は、長引かせないためにも、無理をしないで早めに休養を取り思い切って休むことも大切な判断です。



2026年の恵方は南南東